

山行報告書 5月5日 Y懸（岩稜訓練） 報告者 小泉

山名	Y懸（岩稜訓練）	山行日	例会
ルート	江文神社から北東の標高400mの岩場		
山行日	2024年5月5日（日）	天候	晴
参加者	CL：小泉、SL：森本 男性：若林、小川、廣瀬、木田、木元、西川、川田、土岐 女性：和田、伊藤、高山、米田、藪、田中（み）		

ルート概略図	コースタイム			
	地名	時：分	地名	時：分
	江文神社	集 07:30		
		発 07:40		
	講習場所	着 08:00		
		発		
	江文神社	着 15:00		
		発		

山行報告

絶好の天気にも恵まれた中、16名参加頂きました。今回は、岩稜訓練時の安全確保方法を統一したいという教育部長の思いもあり多数の教育部員の参加がありました。江文神社を7:40に出発し「取り付き」に8時着。そこからトップロープを長短2か所に設置し、簡易ハーネスにロープ接続して登り下りの訓練。その後危険個所の通過時に安全確保と恐怖心の緩和に有効なカラビナスルーの訓練には、登り下り用にトップからロープに50cm位の間隔で20個程度の輪っかを作り、横歩き用に横にロープを張り、どちらも交互にカラビナを付け替える訓練を行いました。

11:30に昼食。午後からは2班に分かれ頂上まで岩場を巻いて登る班と岩場を登る班に分かれ、岩場を巻いて登る班は折角頂上までできたので少し足を延ばし金毘羅山まで行きました。2班とも3時に駐車場着き、そこで解散。

最後に、当初人数も多く3班に編成していたのですがコミュニケーション不足で、うまく班割が機能しませんでした。もう少し皆様が満足頂けるように今後にかかしていきたいと思います。

ヒヤリハット



高山

初めての岩稜訓練でしたが、参加できて良かったです。

高所恐怖症で、1回目に登って下を見たときは、エーッ！となりましたが、下からのアドバイスの声に守られながら、無事に降りてくることができました。実際に回を重ねる毎に、三点支持の手や足の使い方が、少しずつわかるようになってきました。ロープの結び方を何度も根気よく教えていただいたり、カラビナやロープについても更に知ることができ、ありがたかったです。

藪

初めてのY懸ということで、わくわく、どきどきしながらの参加でした。

登山教室の時に教えていただいた簡易ハーネスやロープの結び方を復習して、Y懸取り付きで、三点支持など岩稜歩きの基本を教えていただきました。

また、危険箇所通過時のカラビナスルーの訓練や、ロープの丸結びにカラビナをかけながらの登り降り訓練など、机上で得た知識を実践できる良い機会でした。

ベテランの方々がたくさん参加してくださっていて、その方々の登り降りは見えてとても参考になりました。また自分が実践した時には、アドバイスをしてくださりありがとうございました。

もっとステップアップしてY懸の頭まで登ってみたいと思いました。

CLさん、SLさん、同行してくださった皆さま、ありがとうございました。

田中(み)

晴天の中大原より江文神社を通り、登りきると岩場！これを登るのかあーと

口を開けて見上げるばかり。ロープの準備や、指導をしてくださる方達の声を背中に受けながら登ったかと思うのもつかぬま、下りは足の置き場が見えず、ハラハラドキドキしながらやっと降りた初体験でした。午後の金毘羅山(573m)登る際に踏ん張りがきかず、滑ってしまい、小さな石を落としてしまいました。幸い下の方達に問題はありませんでした。ご迷惑をお掛けしてすいませんでした。